

オンコロジーセミナー2011 受講要綱

目的

癌看護の質の向上を目指すために精神的サポートをはじめ身体的負担が大きい化学療法や疼痛管理などの専門的な知識を学び全人的なケアを行うオンコロジーナース（oncology nurse）を養成する。

■日 時 2011年10月23日（日）～2012年3月11日（日） 【全6回】
 午前10時～午後3時30分（一部変更あり）

■場 所 福大メディカルホール

■講義内容 別紙スケジュールをご参照ください。

■対 象 者 看護師

■定 員 150名（先着順）
 応募多数の場合、お断りさせていただくことがあります。
 ご了承下さい。

■資 料 代 10,000円（全日程分）
 前払い制とさせていただきます。
 後日、振込用紙を送付させていただきますのでお振込下さい。

■申込方法

参加につきましては事前登録制にさせていただきます。

参加を希望される方は申込書に必要事項を記入の上、**F A X**にて事務局へお送りください。（締切日厳守）

申込書はNPO法人臨床血液・腫瘍研究会のホームページからダウンロードが可能です。

■締め切り 2010年8月17日（水）

■共 催： 福岡大学大学院医学研究科
 福岡大学病院腫瘍センター
 NPO法人 臨床血液・腫瘍研究会
 （福岡大学医学部 腫瘍・血液・感染症内科学内）

【カリキュラム】

I. 一般学習目標

1. 悪性腫瘍について病態生理を学び理解できる。
2. 担癌患者について理解できる。
3. 癌の治療について理解できる。
4. 癌化学療法剤の効果、副作用、薬剤間相互作用を知る。

II. 行動目標

1. 基本的知識を学ぶ

- ① 癌の原因、遺伝学、発癌、癌自然史、浸潤、転移が理解できる。
- ② 主な疾患別腫瘍、診断、症状、治療が理解できる。
- ③ 腫瘍随伴症候群、支持療法、血液製剤、疼痛管理が理解できる。
- ④ 自己および同種造血幹細胞移植、移植免疫が理解できる。
- ⑤ 化学療法剤、生物製剤、増殖因子製剤、多剤併用、合併療法が説明できる。
- ⑥ 化学療法薬の安全な取り扱いと投与ができる。

2. 癌患者の看護を实践できる

- ① 疾患別癌患者の看護ができる（固形癌、造血器腫瘍）
- ② 自己および同種幹細胞移植時の看護ができる。
- ③ 化学療法薬による副作用が理解でき症状マネジメントができる。
- ④ 癌化学療法を受ける患者や家族のサポートができる。
- ⑤ 外来癌化学療法と在宅癌化学療法の看護ができる。
- ⑥ チーム医療として腫瘍カンファレンスに参加し役割を担うことができる。
- ⑦ 癌患者の緩和ケアを理解できる。